

事業の基礎情報

事業実施地域	長野県東御市およびその周辺地域
人材育成の対象	福祉・小売・物流事業者等のDX担当者、介護タクシー事業者(開業、従事予定者)、および包括的に地域交通の課題解決を図る人材
人材育成の手法	①MaaS講座(研修、視察、実践)、②個別相談、③DX伴走支援、DXサポーターの育成
人材育成の内容	地域の移動課題をDXにより解決へ導くための人材を育成
想定育成人数	100名 (内訳：福祉事業者の経営層・担当者50名、その他事業者の担当者40名、DXサポーター10名)

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

- ・東御市では、唯一のタクシー事業者が昨年廃業した。市によるオンデマンドバスは健常者には便利だが、介助が必要な住民による利用は難しい。また、福祉事業者は人手不足のため、業務軽減に向けて送迎業務の外部委託を希望しているが、介護タクシー事業者が1社しかなく委託ができない。そこで、東御市、東御市民間介護・福祉事業所連絡会と共に介護タクシー事業の開業を促進中。
- ・東御市、福祉事業者、介護タクシー事業が共創し、介護タクシー事業者が安定的にサービス提供ができるようになるためには、移動の需要量と供給量をバランスさせることが重要。そこで、本事業では、交通、福祉、医療、教育、地域活性化を包括的に捉える地域経営の視点を持ち、デジタル化(DX)を理解・実践できる「交通・まちづくりDX人材」を育成していく。

(事業の概要)

移動課題を抱える、福祉・医療・教育・小売・物流事業者を対象に以下を実施。

- ①MaaS講座： 研修、視察により他地域での先進事例やサービス、取り組みを知ってもらい、知見を得ていただく。
- ②個別相談： 専門家と共に現状把握、データ分析のうえ解決方法を考え、課題解決の道筋を作る。
- ③DX伴走支援： 困難が伴うデジタル化の導入に際し、専門家による伴走支援を行い定着を目指す。
- ④DXサポーターの育成： 事業全体を通して参加し、地域の移動課題解決に向け、知識、経験、人のネットワークを得る。

東御市における交通・まちづくりDX人材育成プログラム

応募様式A

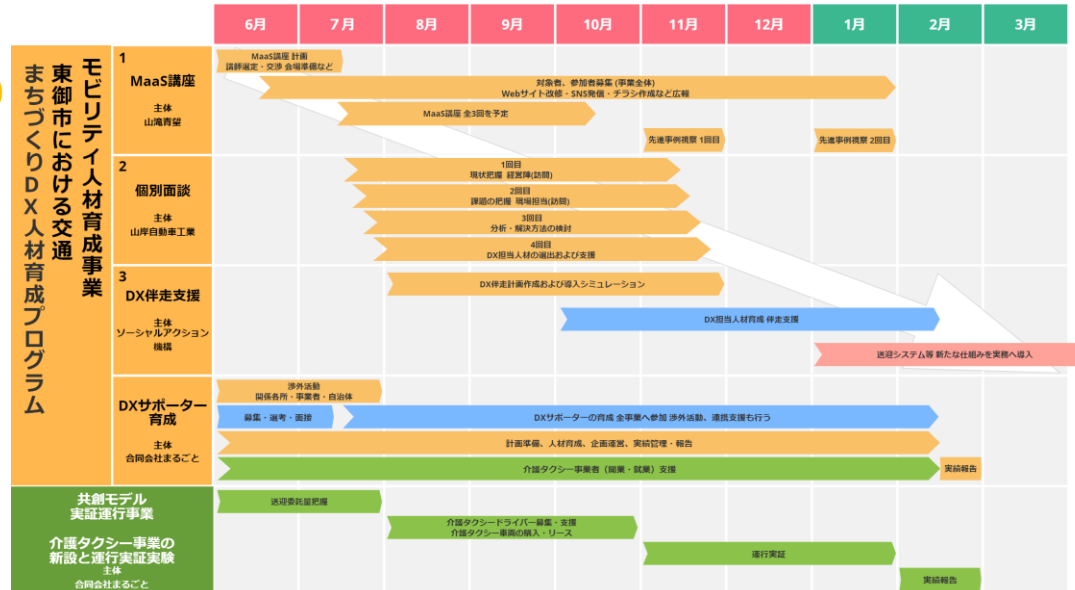
合同会社まるごと

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

- ・交通・まちづくりDX人材、及び、DXサポーターが育成されることにより、福祉事業者等の送迎・配車業務がデジタルで「見える化」され、介護タクシーへの委託が可能となる。そのことにより、福祉事業者等は業務効率化、人材確保、サービス向上に繋がる。
- ・DX化により、「福祉事業者等の送迎の外部委託需要」と「それを受託できる介護タクシー事業者のキャパシティー（供給）」が地域全体で最適にマッチングできるため、介護タクシー事業者に無駄なコストが発生しない。
- ・介護タクシー事業者が介助が必要な方に対して安定的にサービス提供が可能になることにより、ドライバーの雇用・収入安定化に寄与。
- ・交通・まちづくりDX人材、及び、DXサポーターが、地域の交通課題に関するコーディネーターとして人脈・経験・知識を得ることができる。

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

- ・本事業で交通・まちづくりDX人材、及び、DXサポーターが育成され、介護タクシー事業者が安定的にサービスを提供できるようになるノウハウを、公共交通がなくなった地域、事業者に波及させていくことを目指す。
- ・介護タクシー事業者が、福祉事業者から送迎委託を受けるのみならず、今後は、送迎がボトルネックとなって塾、習い事ができない子供達への支援策を検討したい。また、物流、小売事業者などとも連携し、移動需要量と供給量を拡大させ、スケールメリットを出していく。